

2025年8月15日企画委員会

太子町歴史散策（聖徳太子御廟と磯長古墳群を巡る）

毎日、暑い日が続きます。

昨年 10 月、世界文化遺産の法隆寺等(奈良斑鳩町。聖徳太子の遺跡)を
尋ねました。今回は、古代史の最重要人物の一人である、聖徳太子を。
二上山西山麓にある太子町に存在する叡福寺と太子御廟。そして太子を
中心とした皇族の陵墓・王陵の谷、磯長古墳群(一部)を巡ります。
合わせて日本最古の官道と言われる竹内街道を歩き往時を偲びます。



叡福寺・聖徳太子御廟



推古天皇陵

記

- 1、日 時 : 2025年 9月12日 (金)
・17時の気象庁天気予報、大阪南の午前又は午後の降水確率50%以上
前日熱中症警戒アラート発令時 計画は中止する
- 2、集合場所、時間:近鉄南大阪線 上ノ太子駅 10時 10分
天王寺、大阪阿部野橋から近鉄南大阪線 準急で 30分
- 3、コース:上ノ太子駅→(竹内街道)→叡福寺・聖徳太子磯長陵「三骨一廟」
(見学・トイレ)→西方院(昼食、トイレ)→用明天皇陵→推古天皇陵・
二子塚古墳→太子町役場(トイレ)→(竹内街道) →上ノ太子駅
解散 15:30 分頃 歩行距離 6キロ
- 4、持ち物 :弁当、飲み物、雨具、ストック(必要な方) 暑さ対策
- 5、参 考 :昼食時の暑熱対策として西方院大広間の室内で昼食とするが、員数の
関係で A、B 班の二班に分かれて時間差をつけて食事する。

以 上

【参考資料】

1、皇位継承でたどる天皇陵

(1)叡福寺 磯長陵墓

聖徳太子の墓所「三骨一廟」

没年 太子 622年2月22日 49歳.

妃、膳郎女 622年2月21日没

母、穴穂部間人皇后 2か月前没

—3人共に埋葬。

(2)31代 用明天皇陵 磯長原陵

太子の父

生没年 540年?～587年

在位 585年～587年

(3)33代 推古天皇陵 磯長山田陵

太子の叔母 敏達天皇皇后

生没年 554年～628年 75歳

在位 593年～推古36年



2、叡福寺について

境内に聖徳太子の御廟(磯長廟)を祀る。

四天王寺、法隆寺と太子信仰の中核となった寺。

令和3年4月に1400年大遠忌法要が行われた。



3、竹内街道とは

飛鳥時代以前から、難波と大和を結ぶ太古からの交通の要衝。

のちに飛鳥と大陸との往来を担う官道として整備され、沿道には巨大古墳群が点在する。

＊聖徳太子はこの道を愛馬で大阪四天王寺と斑鳩を往復し、大陸からの使節もこの道を通り飛鳥を訪れた。

後世、磯長谷の太子廟に参詣する人や、西国巡礼・伊勢参りをする人達もこの道を往来した。



4、系 図

29代 欽明天皇

檜隈坂合陵. 明日香村

30代 敏達天皇

31代 用明天皇 — 聖徳太子 — 山背大兄王

33代 推古天皇

32代 崇峻天皇

5、三太子とは

聖徳太子ゆかりの大阪府に有る3つの寺

(1)上ノ太子（かみのたいし）叡福寺 伝 推古天皇寄進

所在地 太子町

太子の墓所 北古墳のすぐ前

(2)中ノ太子（なかのたいし）野中寺

所在地 羽曳野市

太子没後の創建？

(3)下ノ太子（しものたいし）大聖勝軍寺

所在地 八尾市

推古天皇から寺号賜る

飛鳥寺ゆかりの寺 太子が此処で物部氏討伐
、敵味方関係なく慰霊。

6、太子ゆかりの寺

世界遺産

法隆寺-世界最古の木造建築・救世観音像・夢殿

法起寺-旧岡本の宮。創建当時の三重塔

飛鳥寺 一蘇我馬子発願寺 元興寺・法興寺と呼ばれたが平城遷都に
より奈良に新たに元興寺が建立された後は、元元興寺、飛鳥寺と
呼ぶ。日本最古の仏像・飛鳥大仏(釈迦如来坐像)

四天王寺-太子創建・創建当時の四天王寺伽藍配置を残した寺

四天王寺縁起、後醍醐天皇宸翰本

橘 寺-太子が生まれた寺

中宮寺-太子が母に建立、国宝「天寿国曼荼羅帳」菩薩半伽像

大安寺-太子建立学舎「熊凝精舎」南都七大寺の1つ

法輪寺-太子病氣平癒祈願の為、息・山背大兄王が建立

朝護孫子寺-信貴山-太子に勝利を授けた毘沙門天を祀る

龍田神社-太子に法隆寺を建立する土地を示した大明神を祀る

玉造稻荷神社-太子が物部守屋との戦いで陣を敷き勝利を祈ったと伝わる。

以 上